

2021 年度 事業計画書

2020 年度は、新型コロナウイルスのパンデミックによって文化・芸術分野においても極めて深刻なダメージを受けた。新型コロナウイルスの影響はもう暫くは続くものと思われるが、2021 年度は当協会の第 4 次グランドデザイン中期計画（2017－2021）の最終年度にあたり、次期中期計画への礎となる活動を推進することとなる。

今後の方向性として「文化を育み」「文化を創造する」次世代人材の育成を一つの柱としたい。文化を担う人材の育成は、2025 年大阪万博で謳われる「いのち輝く未来社会」の土台作りとも言える課題である。

なお、事業の推進にあたっては新型コロナウイルスの状況を見ながら、2020 年度の経験も踏まえて機動的に対応していくこととする。

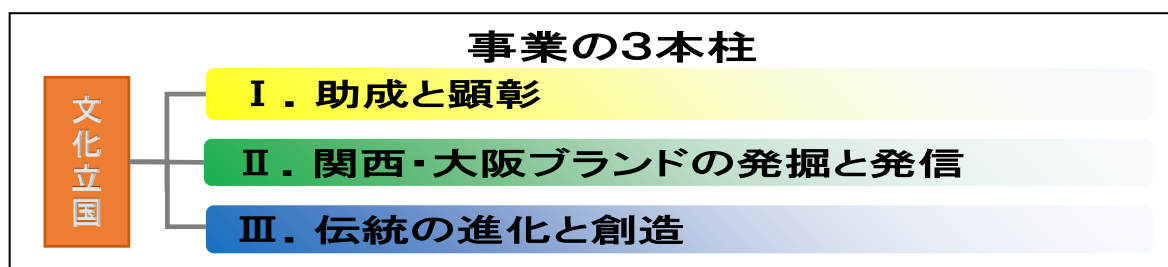
万博記念基金事業では、「万博理念」に相応しい国際交流活動等への助成に加え、新たに日本の伝統文化を学ぶ外国人留学生を対象にした奨学金給付事業を行い、国際交流の中で日本の伝統文化の世界への理解を促すとともに、日本と外国との国際交流の懸け橋となる次世代人材の育成を目指す。

アーツサポート関西事業では、若手アーティストへの支援を重要課題の一つとして位置付け、助成金交付による関西の芸術・文化振興を見据えた人材育成に引き続き取り組む。

また、コロナ禍で苦しむアーティストたちへの支援を強化するため、オンラインを利用した身近な寄付の枠組み「(仮称) Heart & Art」の導入を検討中であり、これに加えて同様のネットの仕組みを活用したクラウドファンディング型の助成の導入も研究する。

文化事業では、小学校でアーティスト支援と児童の情操教育を目的とした取り組みを新たに開始する。アーティストが活動のすそ野を広げ、無限の可能性を秘めた子供たちが、様々なアートに触れることで、心豊かに才能を開花させて欲しいとの願いを込めた人材育成事業である。また、関西の食文化や歴史を深掘りした動画の制作・配信事業を継続するとともに、自治体や諸団体等との結節点機能としての役割を果たすため「北前船寄港地フォーラム」への支援を引き続き行う。

その他、上方文化芸能においては、2020 年度に実施できなかった「上方花舞台」や「大神神社 能・狂言鑑賞」を実施するとともに、「御田植神事」や「宝恵駕行列」等への支援を引き続き行う。



I. 助成と顕彰

1. 「日本万国博覧会記念基金」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって、日本万国博覧会の成功を記念するに相応しく、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った国内外で実施される「国際相互理解の促進に資する活動」に対して助成金を交付するとともに、日本の伝統文化を学ぶ外国人留学生を対象に奨学金給付事業を行い、「次世代人材育成」を通して日本の伝統文化の理解を促し、その根底に流れる調和的発展精神を世界に広げて、人類の「調和ある発展」に貢献する。

あわせて、大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営のために寄附をする。

ア. 助成事業

A. 助成金交付対象分野

1970年万博の理念を継承し、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った以下の活動を助成金交付対象とする。

- 国際相互理解の促進に資する活動
 - …国際文化交流、国際親善に寄与する活動
 - …教育・学術に関する国際的な活動

B. 2021年度助成事業

(1) 2021年度助成金交付事業

① 助成対象等

○ 複数年助成

- ・事業期間2～3年度で成果を挙げられる事業を対象とする。
- ・助成総額2,000万円を上限として、年に数件程度を採択予定。
(※相応しい活動がない場合は「該当なし」とする。)
- ・助成金は年度毎に支払い、単年度での上限金額は1,000万円とする。
- ・「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適い、「万博助成事業の顔」となるに相応しい大きな助成の効果が期待できる活動を対象とする。
- ・各年度実施状況と次年度修正計画の報告を受け次年度の継続可否を審査する。

○ 単年度助成

- ・助成金200万円を上限として数十件程度を採択する。

② 交付決定

- ・2020年度中に交付決定を行った助成金交付対象事業（40件 6,400万円）に対し、各事業の完了後に報告書の提出を受け、助成金を交付する。

2021年度助成金交付決定

(単位 上段：件、下段：万円)

助 成	複数年	単年度	合 計
国際文化交流、国際親善に寄与する活動	(1) 90	(28) 4,660	(29) 4,750
教育、学術に関する国際的な活動	(0) 0	(11) 1,650	(11) 1,650
合 計	(1) 90	(39) 6,310	(40) 6,400

※上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

- ③ 実地調査及び事後評価
- ・国内で行われる助成金交付対象事業の実地調査を行う。
 - ・模範的な団体の活動ノウハウの共有と対外発信の強化を図る。
 - ・助成対象事業者からの報告書と実地調査の結果を踏まえて事後評価を行い、次年度以降の評価に反映する。

(2) 2021 年度奨学金給付事業

① 給付対象等

- ・対象者 日本の伝統文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生を対象
- ・対象人数 8 名程度（予定 4 大学、各大学 1～3 名）
- ・給付額 月額 10 万円、年額 120 万円（1 名あたり）
- ・報告会 年 2 回程度実施

② 募集・審査等

- ・募集期間 2021 年 4 月～5 月
- ・審査 2021 年 6 月上旬（日本万国博覧会記念基金助成事業審査会答申）
- ・交付決定 2021 年 6 月下旬（理事会で決定）

(3) 助成事業の「見える化」への取り組み

助成金及び奨学金贈呈式

- ・国内（一部国外も含む）の助成事業者及び奨学生を一堂に集め、贈呈式を開催する。併せて助成事業の事例発表等を開催する。
- ・経済界やマスコミ、行政、関西の総領事、学識経験者（審査員）、理事、評議員など関係者に広く参加を呼び掛け、事業の「見える化」を促す。

…開催日程 2021 年 7 月頃

…開催場所 大阪

…参加者数 事業者、関係者合わせて 100～150 名程度

C. 2020 年度助成金交付事業の繰越

- ・2020 年度助成金交付事業のうち、助成金の交付が 2021 年度になるものについて事業（33 件 5,306 万円）の繰越を行う。

(内訳)

(単位：件, 万円)

項 目	件数	金額
事業の実施は 2020 年度であるが助成金の交付が翌年度となる事業	4	530
事業の実施が 2021 年度となるため、当該年度の予算措置により助成金を交付する事業	29	4,776
合 計	33	5,306

D. 2022 年度助成事業の募集

(1) 2022 年度助成金交付事業

① 助成金交付対象分野

1970 年万博の理念を継承し、「日本万国博開催の意図」の趣旨に適った以下の

活動を助成金交付対象とする。

○ 国際相互理解の促進に資する活動

- …国際交流に寄与する活動
- …国際協力に寄与する活動
- …教育に関する国際的な活動
- …学術に関する国際的な活動

- ・ 募集事業 複数年度助成事業、及び単年度助成事業
 - i) 複数年度助成事業
 - ・ 「日本万国博開催の意図」の趣旨に適い、今後大きな助成の効果が期待できる活動を対象とする。
 - ・ 事業期間 2～3 年度で成果を挙げられる事業を対象とする。
 - ・ 最長 3 年度、助成総額 2,000 万円を上限として、年に数件程度年を採択予定。
(※相応しい活動がない場合は「該当なし」とする。)
 - ・ 助成金は年度毎に支払い、単年度での上限金額は 1,000 万円とする。
 - ・ 各年度の実施状況と次年度の修正計画の報告を受け、次年度の継続助成を行うかどうか審査する。
 - ii) 単年度助成
 - ・ 助成金 300 万円以内の範囲で上限額を設定し、年に数十件程度を採択する。

② 募集方法等

- ・ 募集方法 ホームページへの掲載や関係先への募集要項送付
- ・ 募集説明会 大阪会場他
- ・ 募集時期 2021 年 7～9 月
- ・ 助成総額 8,000 万円 (国内外事業助成予定総額)
- ・ 助成対象事業の選考 審査会の開催 2022 年 1～2 月
- ・ 助成金の交付決定 決定時期 2022 年 3 月
〔 日本万国博覧会記念基金助成事業審査会への諮問、同審査会
の答申を受けて理事会で決定する。 〕

(2) 2022 年度奨学金給付事業

① 奨学金給付対象分野

1970 年万博の理念を継承し、世界の未来を担う「次世代人材育成」を通して日本の伝統文化の世界への理解を促す「国際相互理解の促進に資する活動」を奨学金給付対象とする。

② 募集対象等

- ・ 募集対象 日本の伝統文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生
- ・ 対象大学 日本国内の奨学金の給付対象となる大学 (予定 4 大学)
- ・ 対象人数 8 名程度 (各大学 1～3 名)
- ・ 給付額 月額 10 万円、年額 120 万円 (1 名あたり)
- ・ 給付期間 修士課程修学期間 (最長で 2022 年 4 月～2024 年 3 月)
- ・ 募集方法 対象大学による公募やホームページへの掲載
- ・ 募集時期 2022 年 3 月末～4 月
- ・ 助成総額 2,000 万円程度 (継続給付含む)
- ・ 助成対象の選考 対象大学内選考及び審査会の開催 2022 年 6 月

- ・奨学金の交付決定 決定時期 2022 年 6 月（理事会で決定）
- 〔日本万国博覧会記念基金助成事業審査会への諮問、同審査
会の答申を受けて理事会で決定する。〕
- ・報告会 年 2 回程度実施

イ. 大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営に寄附する事業

大阪府が設置する日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附する。

【寄附金額】 1 億 4,000 万円程度（万博記念基金の運用益の二分の一）

2. 「アーツサポート関西」(ASK) 事業 (公益目的事業 3)

芸術・文化は、人々の感性や創造性を涵養し社会をより豊かにするものである。関西の優れた伝統芸能の継承や新たな芸術的価値の創出を図るため、民間から広く支援を募り、助成金交付等の事業によって関西の芸術・文化活動を行う個人・団体を支援する。

また社会に対し芸術・文化を支援する意義を広く周知し、支援の輪を広げていく機運醸成を図る。

ア. 寄附を集める活動

ASKの活動は、民間からの寄附金を財源としており、この活動財源である寄附受入の持続可能な仕組みとして、サポーターズクラブをはじめ、購入代金の一部が寄附される「寄附型自販機」や買取代金が寄附される「モノ de 寄附」など多様な取り組みを行ってきている。

今後、より一層ASKの運営基盤を強化するため、負担感の少ない持続性のある寄附受入の手法について、次のような取り組みを行う

- A. 「ASKサポーターズクラブ」による収入の維持・拡大
- B. 「ASK寄附型自販機」による収入の維持・拡大
- C. 「モノ de 寄附」による収入の維持・拡大
- D. 「カード寄附」による収入の維持・拡大
- E. 「クラウドファンディング型助成（仮称）」による新規実施に向けた検討
- F. 「HEART AND ART（新型コロナウイルスの影響を受けた芸術活動支援）」の新規実施に向けた検討
- G. その他、持続性のある新たな寄附の方法の検討・実施

イ. 助成事業

A. 2021 年度 助成金交付事業の実施

(1) 一般公募助成

寄附型自販機寄附など、支援先の指定がない寄附を原資として公募で助成するもの。2021 年度に行われる活動を対象に、2020 年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

2021 年度助成金交付決定

(単位：件、万円)

	件 数	金 額
美術・デザイン	4	160
音 楽	3	100
舞台芸術	4	140
伝統芸能	2	100
合 計	13	500

※上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

(2) 個別寄金助成

寄附者が支援対象を指定したファンドを設け、ファンドごとに公募で助成するもの。2021年度に行われる活動を対象に、2020年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

①前年度からの継続事業

助成名	助成総額	助成分野	対象者
「寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金」助成 (7年目)	50万円	伝統芸能	公益財団法人 上方落語協会 ※助成先は10年間継続

②公募済みの事業

助成名	助成総額	助成分野	対象者
「岩井コスモ証券 A S K支援寄金」助成 (5年目/最終年度)	400万円	美術・デザイン 音楽、伝統芸能	国際的に高い水準の芸術・文化活動を行う者もしくはその潜在性を有する者で、関西広域を拠点に活動する35歳未満の若手芸術家個人(大阪を拠点に活動する者を優先的に支援)
「八千代電設工業伝統芸能支援寄金」助成 (5年目)	50万円	能楽における青少年を対象にした教育普及活動	関西広域において左記の活動を行う団体
「上町台地現代アート創造支援寄金」助成 (3年目)	50万円	上町台地における寺社とアートとの融合を図る活動	関西広域において左記の活動を行う個人・団体
「コクヨ文楽支援寄金」助成 (1年目)	(2021年度) 250万円 ※	関西における文楽の普及発展に貢献する活動	関西(大阪)において左記活動を行う団体

※「コクヨ文楽支援寄金」については、2020年度に250万円の助成金交付を行う予定であったが、新型コロナ感染拡大により文楽公演が中止となったため、2021年度の活動を対象に交付することとする。

③2021年度中に公募し交付予定の事業

助成名	助成総額	助成分野	対象者	公募時期
日本電通メディアアート支援寄金助成	100万円	メディアアート	関西を拠点に活動するアーティストによるメディアアート作品制作支援	2021年6月 (予定)

B. 2022年度助成事業の募集

(1) 一般公募助成

助成総額	助成分野	対象者	募集期間	募集方法
300万円 ～500万円	美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能	関西を拠点に活動する個人・団体 (個人優先採択)	2021年12月 ～2022年1月	協会ホームページへの掲載、関係先へのメール等による案内、募集説明会の開催など

※寄附の受入状況によって助成総額を設定する

(2) 個別寄金助成

助成名	助成総額	助成分野	募集期間	募集方法
「八千代電設工業伝統 芸能支援寄金」助成 (6年目)	50万円	関西で行われる能 楽における青少年 を対象にした教育 普及活動	2021年12月 ～2022年1月	WEBへの掲載等による
「上町台地現代アート 創造支援寄金」助成 (4年目)	50万円	上町台地における 寺社とアートとの 融合を図る活動		
「未来アート寄金」 助成	90万円	現代美術およびコ ンテンポラリーダ ンス		
「ソフィア寄金」助成	4.5万円	現代美術における 平面作品の制作活 動		

(3) クラウドファンディングによる助成事業の募集

予め助成対象事業者を募集選考のうえクラウド上に公表し、当該事業者を支援（助成）するための寄附集めを行う取り組みを実施するため、2021年度において、その対象事業者を公募する。

- ・対象者 事業を関西で実施する又は関西に拠点を置いて活動する法人、団体
- ・助成分野 美術・デザイン、音楽 等
- ・募集期間 2021年12月～2022年1月
- ・審査選考 2022年2月（評価・審査会及び運営委員会の審議を経て選考）
- ・対象者決定 2022年3月（理事会：3月）
- ・寄附金公募 2022年4月～6月
- ・助成金交付 2022年7月以降随時

C. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者によって構成される評価・審査委員会において選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

- ・評価・審査委員会 2022年1月～2月（1次～2次）
- ・運営委員会 2022年2月～3月上旬
- ・助成金交付決定 2022年3月（理事会：3月）

ウ. 芸術・文化への支援に関する社会的機運の醸成を図る取り組み

芸術、文化の活動を支援（寄附）することの意義について、これまでのASK支援者（寄附者）をはじめ、広く一般市民や企業にASKへの関心を持っていたき、積極的に支援（寄附）するという文化の社会的機運を醸成する取り組みとして、成果報告会の実施やメディアと連携した情報発信を行う。

…成果報告会開催日程 2021年6～9月

3. 人材育成（アーティスト支援）

ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の機運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果

をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

- ・主 催 大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪21世紀協会
- ・贈呈式 2022年3月

イ. アーティスト交流体験～文化芸術による次世代育成～プログラム（公益目的事業1）

新進の現代アートの人材を育成し、文化芸術のすそ野を広げることにより、関西・大阪の文化芸術の活性化に貢献することを目的に、関西・大阪のアーティストの活動紹介と子どもたちを対象とした文化芸術体験の場を提供するプログラムを実施する。

- ・主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会
- ・実施校数 5校
- ・実施校募集 公募
- ・実施時期 2021年6月～12月頃（1校につき3回実施）

※本事業実施に際して年度毎に評価を行うため外部から評価委員を招聘予定。

ウ. 文化活動機会の架け橋事業の実施（公益目的事業1）

当協会が結節点機能の役割を果たし、関西・大阪で活動する優れたアーティストを文化芸術活動の誘致（実施）を希望する団体等に紹介し、文化活動の活性化を図る取り組みを実施する。

- ・実施時期 通期

II. 関西・大阪ブランドの発掘と発信

1. 関西ブランドの発信

ア. 「KANSAI*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業1）

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術の三術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信する広報誌を発行する。

賛助会員をはじめ、公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布する（約1万部）。

- ・発行回数 年2回（7月・1月予定）

イ. ホームページ、SNSによる発信（公益目的事業1）

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催する芸術文化活動の最新ニュースや動画をタイムリーに発信するとともに、ウェブマガジンを通じてブランド情報をネット上に蓄積する。

ウ. 食文化・歴史等に関する動画の制作とYouTube発信（公益目的事業1）

関西の食文化・歴史を深掘りし、ケーブルテレビとのコラボレーションにより、動画を制作、放送する。放送後は当協会ホームページに動画を掲載する。

エ. 御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋や長堀通りの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

2. ネットワークと理解促進

ア. 後援・協力（その他事業1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状の授与等）を行い、協会だよりで広く活動を紹介する。

イ. 広報活動（公益目的事業1）

当協会の活動を広く理解してもらうために、マスコミ関係者とのリレーションを強化し、関西プレスクラブへの参画等の取り組みを行う。

Ⅲ. 伝統の進化と創造

1. コラボレーションによるまちづくり～オリンピック文化プログラムの推進～

ア. 令和 OSAKA 天の川伝説 2021（公益目的事業1）

八軒家浜界隈に「いのり星®」を放流し、大川の川面に天の川を描く「OSAKA 天の川伝説」は水都大阪を彩る七夕の風物詩として第11回目を迎える。

地元商店街や大阪天満宮、生國魂神社など関係機関と共に、まちづくり推進のため主催者への協力を継続する。

- ・主 催 (一社)おしてるなにわ
- ・協 力 (公財)関西・大阪21世紀協会
- ・実施時期 2021年7月7日(水) 予定 ※荒天、増水等で中止の場合、延期予定

イ. 大阪城サマーフェスティバル 2021（公益目的事業1）

「大阪の芸術文化の情報発信力の強化」、「大阪の賑わい創出」を目的として大阪城サマーフェスティバル実行委員会に参画し、「オリンピック・パラリンピック文化プログラム」参加の結節点機能を果たすとともに、大阪城周辺で実施されるさまざまなイベントの情報を集約した合同の告知パンフレットを発行して、大阪の魅力発信と観光集客を目指す。

- ・主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会
※大阪府、大阪市、経済団体、関西・大阪21世紀協会(事務局)等
- ・実施時期 2021年7月～9月(予定)

ウ. 大阪万博に向けた歴史・文化の紹介 [日本博事業フォローアップ]（公益目的事業1）

2019年度、2020年度に掛けて文化庁の日本博事業に参画し、古代大阪で宮中祭祀「八十島祭」が行われていたという認知度を上げる取り組みを実施した。具体的には、「八十島祭」に関する内容を体系的に解説するコンテンツ制作とこの内容を紹介するシンポジウムの開催、WEBサイトの構築を行った。

2021年度は、昨年度に制作したコンテンツの有効活用のため当協会関連催事やWEBサイト等において関西・大阪の歴史・文化の紹介を行うことを主眼に、2025年大阪万博に向けた幅広い視点での取り組みを推進する。

- ・実施期間 通 年
- ・関連催事 常設博物館でのイベントなど ※共催・協力として参画

エ. 広域連携支援／「北前船寄港地フォーラム」の支援（公益目的事業1）

「(一社)北前船交流拡大機構」が地方創生への貢献を目的に実施する「北前船

寄港地フォーラム」を支援する。

また、北前船各寄港地の日本遺産認定に伴い、同機構が推進する「日本遺産」啓発事業に対して関西から広域へ及ぶ連携への協力を行う。

- ・支援期間 通年
- ・フォーラム実施時期 10月、2月（予定）
- ・日本遺産への協力 通年

2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事に、上方文化芸能運営委員会が協賛し、あるいは主催者として当協会の他事業との相乗効果や総合力を発揮できるような展開を図る。

上方伝統行事については、記録映像を集積し当協会ホームページで発信する。

ア. 上方文化芸能振興事業 伝統文化行事の伝承者の育成

A. 日本の文化に親しむ（「町人文化を味わう」）

（1）天神祭「船渡御」の体験

- ・実施時期 2021年7月25日（日）天神祭【予定】
- ・場 所 大川、桜ノ宮公園付近（大阪府大阪市）

（2）能・狂言の鑑賞

- ・実施時期 2021年10月21日（木）【予定】
- ・場 所 三輪明神大神神社の能舞台（奈良県桜井市）

B. 日本の芸能に親しむ

（1）第21回「上方花舞台」の公演

- ・実施時期 2021年9月3日（金）～5日（日）【予定】
- ・場 所 国立文楽劇場

C. 季刊雑誌「やそしま（第15号）」の発刊

- ・発刊時期 2021年12月頃【予定】
- ・内 容 座談会等 詳細未定

D. 上方の文化、芸能の資料収集等

イ. 上方伝統行事への共催・協賛

A. 今宮戎神社 宝恵駕行事[無形民俗文化財]（2022年1月10日）協賛

B. 住吉大社 御田植神事[重要無形民俗文化財]（2021年6月14日）共催